



第8回 地域相互協力図書館合同主催公開講座
を開催しました(1月20日：図書館9階)

演 題 「世界の中の日本、日本の中の世界
—身近なグローカリズムを考える—」
講 師 城西大学経済学部 客員教授 勝浦 信幸 先生
.....
勝浦信幸先生から、移民、難民の困難な現状と日本の人口推移予測などを基に、外国人とともに生きる地域創生のあり方について、身近な例を交えてお話いただきました。近隣地域の方をはじめ、学生、教員を含む85名が熱心に耳を傾けていました。



坂戸市立城山中学校の生徒が
図書館で3日間の職場体験をしました

1月24~26日、坂戸市立城山中学校の生徒3名が「中学生職場体験学習」として図書館の仕事を体験してもらいました。大学の図書館がどんなことをしているのかを教わったうえで、受入図書の装備、カウンターでの貸出、返却図書の配架、POP作りなどの業務を体験しました。(館内展示中)



大学生を相手に緊張の貸出(カウンター)体験

返却図書を正しく棚に戻せると思わず笑みも♪

「難しいことも多かったけれど、やりがいのある体験ができました」

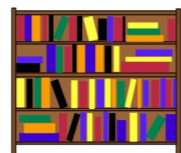
知って得する！図書館活用術 調べものに困ったら、カウンターで相談しよう！

カウンターでは、利用者からの質問・相談を受け付けています。資料の探し方がわからない、蔵書検索OPACの使い方がわからない、ある事柄について、どの資料で調べたら良いか知りたいなど、気軽に相談してください。

例えば

「第二次世界大戦以後の沖縄の観光」について調べたいのですが、館内にはどんな資料がありますか？

図書館のカウンターには資料探しの専門家(司書)がいて、いつでも資料の相談ができます。



都道府県の観光白書もあります。残念ながら沖縄のものは当館では所蔵していません。でも必要な時には、所蔵している他大学の図書館などから、図書を借りることもできますよ。



ILL(文献複写・現物貸借)サービス

他の図書館から現物を借りたり、コピーをもらうことができます。くわしくは、気軽にカウンターへお尋ねください。

春休みの貸出について(学部1~3年生・短大1年生)

冊数	対象資料	実施期間	返却期限日
5冊	図書※	1/19~3/24	4/8

※シラバス図書は対象外です。

◆薬学科4、5年生・大学院生(卒業年次生を除く)・研究生・研究員・教職員の方は、通常の90日間の貸出です。

◆長期貸出で借りた図書は、延長できません。

2017年2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

■=9:00~17:00

■=8:30~21:00

■=休館

卒業年次生・別科生・科目等履修生の返却期限について

最終返却期限日は2/10です。

◆卒業する前に、図書館の資料は必ず返却してください。

1月の図書館集報

- 1/12 日本医学図書館協会(JMLA)/日本薬学図書館協議会(JPLA)のコンソーシアム合同委員会に出席しました。
- 1/19 坂戸市図書館協議会に出席しました。
- 1/20 第8回地域相互協力図書館合同主催公開講座を開催しました。
- 1/24-26 坂戸市立城山中学校の中学生職場体験学習を受け入れました。

発行：城西大学水田記念図書館
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL：049-271-7736
FAX：049-286-8126
mail：library1@josai.ac.jp

URL: http://libopac.josai.ac.jp/
TwitterID @lib_josai



城西大学水田記念図書館報
Book Mark 2017
2

適正なレポート作成のために

現代政策学部 教授 松野 民雄

毎年、図書館主催の著作権に関する講演会が開催されている。この講演会では、学生・院生に分かり易く著作権の内容を解説して、卒業論文やレポートを作成する際に著作権法違反にならないように注意喚起している。在学中に、すべての学生が、レポート作成やゼミその他でのプレゼンテーションの際にレジメやパワーポイントを作成するであろうし、一部の学生は卒業論文を書くことにもなる。また、大学院生は、当然に論文を作成することになる。著作権に関する知識は、学生・院生にとって、当然に必要な知識である。なるべく多くの学生・院生が、著作権講演会を聴講し、著作権に関する知識を修得してもらいたいと願っている。

学生のレポートやゼミのプレゼンテーションの際のレジメなどを見ると、他人の書いた文章を丸写し(いわゆる「パクリ」)したものや出所のわからないデータ・資料が掲載されていたりする。他人の書いた文章を丸写して自分のレポートとして使うことは盗用であり、絶対にしてはならないことである。他人の書いた文章を使用するときは、正しい引用方法に従って使用しなければならない。学問上、引用対象となる文献は、だれが書いた文章かが明示されているものに限られ(著者・筆者の明示=文責の明示、だれが書いたかわからない文章(たとえば、ウィキペディア・ウィキリークスなど)は、レポート・レジメなどで使用してはならない。このような文章には、学術的価値は認められないからである。また、他人の作成したデータ・資料を使用するときは、正しい引用方法に従って必ず出典を明示しなければならない。もちろん、自分の都合の良いようにデータ・資料を捏造したり改ざんしたりしてはならない(STAP細胞事件やノバルティスファーマ事件などは記憶に新しい)。このようなことを強く意識して、レポート・レジメなどを作成してもらいたい。

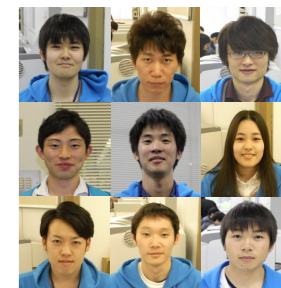
レポートなどの作成にあたって、文献・資料などの使用方法・引用方法に関する参考図書として、次の図書をお薦めする。それは、谷岡一郎著『科学研究とデータのからくり—日本は不正が多すぎる!—』(PHP新書1006、2015年10月、株式会社PHP研究所)*である。同書では、研究者の過失・不正をレベル1からレベル5までの5段階に分けて検討している。レベル1は単なるミスで、訂正すれば済むレベルだが、レベルが上がるにつれて悪質性が強くなり、レベル5になると犯罪行為であるとする。同書は、非常に分かり易く書かれており、読み易い本である。新書本であるので、通学途中の電車の中でも気軽に読むことができる。是非とも読んでもらいたい一冊である。

*図書館に所蔵があります。(407//Ta88)

『科学研究とデータのからくり—日本は不正が多すぎる!—』

アドバイザー通信

●第5期学生アドバイザーから皆さんへ



●学生アドバイザーの活動紹介



「学生アドバイザーになってみたい」という方は、図書館カウンターまでご相談ください。

知って得する！図書館活用術

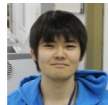
●調べものに困ったら、カウンターで相談しよう！



図書館のカウンターには資料探しの専門家(司書)がいて、いつでも資料の相談ができます。



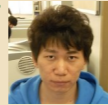
経営学研究科研究生
小嶋 識喜
(Noriki Ojima)



この1年間を振り返ると、多くの活動ができ、アドバイザーとして充実した1年間だったと思います。特に高麗祭のピリオバトルで理事長賞を受賞することができたのは、皆様のお力添えあってのことです。

これからも、アドバイザーは様々な活動を通して、精進いたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。最後になりましたが、充実した経験をさせていただき、ありがとうございました。

大学院経済学研究科2年
裴 貴杰
(Pei Guijie)



中国から来た留学生です。城西大学経済学研究科大学院2年生のペイです。去年の4月から図書館の学生アドバイザーとなり、もうすぐ1年になります。図書館の方やアドバイザーの仲間にも助けをもらいながら、様々なイベントを経験し、知識や能力が高まりました。

相談を受け、学習や大学生活について話したり、アドバイスを伝えることによって、自分自身の言語能力や学力の不足も補充され、良い経験になりました。本当にありがとうございました。

学生アドバイザーから皆さんへ

アドバイザー通信

学生アドバイザーは「学生が学生に相談できる制度」として2012年度後期に発足し、現メンバーは第5期です。今年度も1年の締めくくりとして、今期アドバイザーから一言コメントを寄せられました。



大学院経済学研究科2年
陶 羽
(Sue Ha)



1年間学生アドバイザーを務めさせていただいた陶です。

完璧とは言えませんが、図書館を利用してくださった皆さんのサポートができて、大変嬉しいです。また、学生アドバイザーのメンバーと共に様々な活動の企画および運営を通し、非常に楽しい時間を過ごせました。

この貴重な経験を得て自分自身も成長でき、充実した1年間でもありました。ありがとうございました。

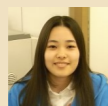
薬学部薬学科6年
細田 伸之助
(Shinnosuke Hosoda)



今年度の6月からアドバイザーとして活動させていただきました。アドバイザー会議やイベントには、都合が重なってあまり参加できず残念でしたが、多くのことを学ぶことができました。

高麗祭ピリオバトルではアドバイザーの仲間や図書館員の方々と協力し、充実したイベントにすることができたと思います。薬学科の学生として少しでも業務の力になることができたら嬉しいです。短い間でしたがありがとうございました。

現代政策学部3年
前田 のぞみ
(Nozomi Maeda)



今年度から学生アドバイザーとして活動させていただきましたが、振り返ってみるとあっという間の1年でした。もともと私自身、足繁く図書館に通っていたという訳ではなかったため、いざ学生アドバイザーの仕事してみると知らないことがたくさんありました。しかし、仕事の中で学ぶことは多く、やってみるととても面白く充実したものでした。

来年度も学生アドバイザーとして活動させていただく予定ですので、よろしくお願い致します。

経済学部4年
木村 朋彦
(Tomohiko Kimura)



学生アドバイザーを1年間やらせていただいた木村です。アドバイザーをやってみて一番良かったことは、今までにない経験ができたことです。

普段利用する側の図書館でアドバイザーとして働かせてもらったことで図書館がより身近な場所になりました。最初はアドバイザーになることを悩みましたが、貴重で楽しい経験ができていい思い出になりました。

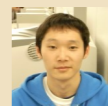
これからもアドバイザーに気軽に声をかけてくださいね♪

リーダー
現代政策学部4年
春田 秀之
(Hideyuki Haruta)



2年間、特に今年はリーダーとして学生アドバイザーを務め、貴重な経験をさせていただきました。学生アドバイザー主催の高麗祭ピリオバトルが理事長賞に輝いた事も本当に嬉しかったです。学生の相談を受け付けたり、メンバー同士で新たな企画を立てた経験も大きな財産です。学生生活の半分以上を図書館で過ごし、図書館で大きく成長できたと実感しています。本当にありがとうございました。これからも学生アドバイザーをよろしくお祈りいたします。

経営学部3年
大澤 翔
(Sho Osawa)



今年度のアドバイザー業務を振り返ると私自身を成長させてくれた1年になったと感じています。

特に歴代の先輩が築き上げてきたピリオバトルは今年度で6年目を迎えました。これまでの土台を基礎に、さらに良いものごと毎週会議で話し合った甲斐もあり、高麗祭ピリオバトルは理事長賞をいただくことができました。この経験を忘れず、来年はさらに飛躍できる年になればと思います。

理学部数学科3年
岩崎 健
(Takeru Iwasaki)



今年度はアドバイザーの業務を通して、自分自身の成長にもつながった1年になりました。毎週行われる会議で意見などを出し合い、アドバイザー全体で様々なイベントを作り上げていくことが何よりの経験でした。その甲斐もあり、高麗祭ピリオバトルで理事長賞を受賞することができました。学生アドバイザーの皆様がよりよく活用していただけるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお祈りいたします。1年間ありがとうございました。

学生アドバイザー活動紹介

図書館学生アドバイザー
メールアドレス: libadv@josai.ac.jp ツイッター: @lib_adv

学習の相談にお答えします

1階と3階にあるアドバイザー席では、さまざまな相談を受け付けています。パソコンの使い方・レポートの書き方など、学生目線で親身になって答えます。

主な仕事は「学生の学習支援」

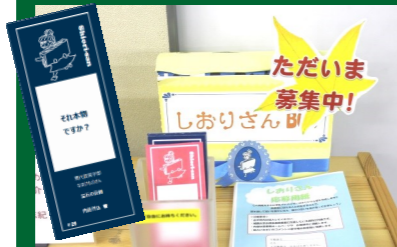


アドバイザー自身も一緒に成長していくことを目指しています

「しおりさん」やっています

おすすめの本を、菜を通して紹介してみませんか？専用の記入用紙に必要事項を書いて応募すると、アドバイザーが菜(「しおりさん」)にします！

※当館に所蔵している資料が対象です。



知的書評合戦ピリオバトル

「全国大学ピリオバトル」の学内予選会では司会進行を務め、「ピリオバトルin高麗祭」はアドバイザーが主催しています。

今年の高麗祭ではアドバイザーが第49回高麗祭理事長賞を受賞★



ピリオバトルは5分間おすすめの本を紹介しよう書評ゲームです

ライブラリーラウンジ

図書館イベント「ライブラリーラウンジ」の司会進行を担当しています。今年度は計4回のラウンジを開催しました。アドバイザーを含め参加者は、人生の先輩から学んだり(第8回)、スポーツを通じた貴重な話を聞いたり(第10回)、読書を通じたコミュニケーションを楽しんだり(第9, 11回)と、学部や年齢を越えた交流を図りました。

第8回(6月、13名参加) 第10回(10月、66名参加) 第9,11回(6,11月、計34名参加)



地域アドバイザー(木村さん)ミニ講演会「自分のこと、うまく話せますか? ~自己表現の方法、教えます~」

本学経営学部4年・リオ五輪日本代表(4x400mリレー)の佐藤孝太郎さんをゲストに迎えたトーク会。

おすすめ本を紹介しよう「ひとりじゃない読書への誘い: ゆるくほんでおしゃべり、しませんか?」

学生アドバイザー企画展示

レポートや卒論の書き方について、アドバイザー自身が実際に役立ったと感じた本を、POPを交えて紹介しました。

7, 11月実施



展示初日から次々と借りられていました

アドバイザーからのコメントも添えて紹介